

## 研修No. 1 3

## 2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 18 日
研究・研修課題名	呼吸治療専門臨床工学検定試験
研究・研修組織名(所属)	日本臨床工学技士会
研究・研修責任者名(所属)	原 有彩 (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	原 有彩、石飛 翔吾 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(該当なし)
該当者名(所属)	石飛 翔吾 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	第 12 回呼吸治療専門臨床工学検定試験 (2023. 2. 5/米子情報処理 テストセンター、2023. 2. 10/松江駅前テストセンター)
演題名・認証交付元等	日本臨床工学技士会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****①目的**

ICU・HCU や昨年より増床し稼働している周産期センターを中心に人工呼吸器の稼働数は増加傾向にある。また、重症 COVID-19 患者には人工呼吸器管理が大変重要になっており、臨床工学技士は今まで以上の知識や技術が必要になっている。今回、呼吸治療専門臨床工学技士を取得することで、今まで以上に患者さんに効果的な呼吸治療を提案し、医療従事者が安全に管理できるようにすることや、臨床工学技士だけでなく、人工呼吸器を管理する他のスタッフも高度な知識が求められるので、得られた知識・技術をスタッフ教育に生かすことを目的とする。

**②方法**

2023 年 2 月に行われる呼吸専門臨床工学検定試験を受験。また、資格申請時に必要な研修を受講する。

**③成果**

試験は受験済み。試験結果は 4 月に公表されるため現在結果待ち。